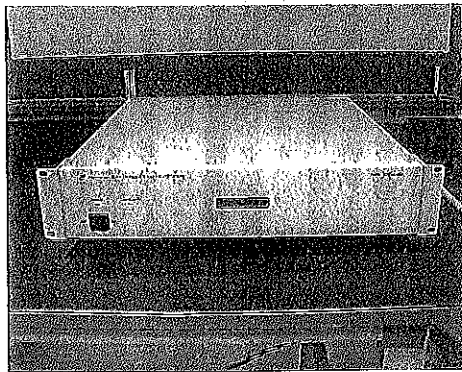
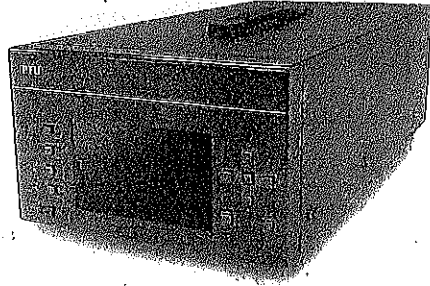


HD回線1本で4K伝送

フジテレビ、実験成功

（当電など
と共同で）



フジテレビは、PFCで伝送レート9500 Mbpsに圧縮。その後、このIP信号を送るシステムを構築し、伝送実験に成功した。

同システムは、18日からの国際放送機器展で営業のブースで展示される。

今回のシステムでは、送信側で4K(60P)信号をPFCが開発中の4Kリアルタイム圧縮IP伝送装置「QG700」で圧縮し、受信側ではSDIハイパーでHD-SDIからIPに再変換し、QG7000で4K信号に変調した。

伝送レートが9500 Mbpsのため高画質で、JPEG2000圧縮方式(フレーム内圧縮)のため、約33秒以内の低遅延で伝送できる。このため、ラップ中継でも十分使用できる品質が特徴になっている。

中継現場から本社への番組伝送や、局内の信号分配において、通常は高価な4K設備や高コストの回線が必要。しかし、このシステムにより既存の機器、回線を活用して低コストの4K伝送が可能になる。

QG7000では4K多重伝送も可能で、HD回線1本で4K素材を2回線伝送することも可能。

今後、放送局が4K設備導入にあたり有益なシステムになる、とフジテレビでは説明している。

話題の技術・サービス